

平成19年6月7日

少数台数のリコール届出及び改善対策届出の公表について（平成19年5月分）

I リコール届出関係

リコール対象が少数である100台未満の届出について、平成19年5月は下記のとおり3件の届出がありましたので、公表します。

1. 届出者：トヨタ自動車株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
5月10日	1878	車名：トヨタ 型式：DBA-NZE151H 通称名：オーリス	20	平成18年11月2日～ 平成19年3月14日
不具合の部位等	ディーラーオプション部品として設定したフロントフォグランプを装着した車両において、メーター仕様の設定が不適切なため、当該ランプの点灯操作状態を運転者に表示する装置が備えられていない。			

2. 届出者：新キャタピラ三菱株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
5月22日	1881	車名：キャタピラー 型式：8RS 通称名：938G	20	平成11年1月25日～ 平成12年11月16日
不具合の部位等	除雪専用車にオプションとして設定されている二人乗りキャブ車両において、助手席の取付け位置が不適切なため、当該座席が運転操作に必要な装置と重複しているものがある。そのため、助手席に乗車した場合、乗車人員が運転者の駐車ブレーキ操作を妨げるおそれがある。			

3. 届出者：マツダ株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
5月31日	1890	車名：マツダ 型式：DBA-DY3R 他 通称名：デミオ 他	6	平成18年10月10日～ 平成18年10月11日
不具合の部位等	前輪緩衝装置のコイルスプリングの設計が不適切なため、路面からの衝撃により、ストラットマウントのダンパー取付け部に過大な応力が発生することがある。そのため、そのまま使用を続けると、当該取付け部に亀裂が生じ、最悪の場合、破損してダンパーが外れ、走行不能に至るおそれがある。			

[参考 平成19年5月のリコール届出総件数]

		内 訳	
		対象台数 100 台以上	対象台数 100 台未満
国産車	16 件	13 件	3 件
輸入車	7 件	7 件	0 件
計	23 件	20 件	3 件

II 改善対策届出関係

改善対策対象が少数である100台未満の届出について、平成19年5月は下記のとおり1件の届出がありましたので、公表します。

1. 届出者：株式会社タダノ

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
5月 8日	355	車名：いすゞ 他 型式：KC-NKR66EP 他 通称名：エルフ 他	58	平成 6年 2月18日～ 平成18年12月22日
不具合の部位等	高所作業車において、バケットを取付けているアームの固定方法が不適切なため、上り坂の曲路走行時等に、カーブで受ける過大な遠心力と路面からの振動が同時に作用した場合、アームの旋回ウォーム減速機の旋回ブレーキ力が瞬間的に低下し、アームが旋回することがある。そのため、そのまま使用を続けると、最悪の場合、バケット側端が車幅からはみ出すおそれがある。			

[参考 平成19年5月の改善対策届出総件数]

		内 訳	
		対象台数 100 台以上	対象台数 100 台未満
国産車	1 件	0 件	1 件
輸入車	0 件	0 件	0 件
計	1 件	0 件	1 件

(問い合わせ先)

国土交通省自動車交通局技術安全部審査課 リコール対策室 中村・木内 電話 03-5253-8111(代表)(内線 42352・42354)
